

音の新たな表現にチャレンジする、実験的なパフォーマンス・ライブ!

# サウンド パフォーマンス ライブ

2022年2月27日  
(日) 15:00

愛知県芸術劇場 小ホール  
(愛知芸術文化センター地下1階)

当日券のみ14:30~販売

ゲストアーティスト

ASUNA、伏木啓 + Collaborative Artists



公募アーティスト

村田厚生・池田拓実・磯部英彬  
華山萌、Benda putar、レトロニム

今回の  
テーマ

## 音と動きを解放する

主催：愛知県芸術劇場

助成：文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業） |

独立行政法人日本芸術文化振興会



# サウンドパフォーマンス プラットフォーム2022

今回のテーマ **音と動きを解放する** 2022年2月27日(日)14:30開場 15:00開演  
愛知県芸術劇場 小ホール(愛知芸術文化センター地下1階)

「コンサート」ではこぼれ落ちてしまうような多様な音の作品や、音と文字、映像、身体表現を伴う作品など、ひとくくりにはできない新たな音のパフォーマンスを一挙に紹介する場、「サウンドパフォーマンス・プラットフォーム」。ゲストアーティストの2組に加えて、公募から選ばれた出演4組が登場します。

今回のテーマは、「音と動きを解放する」。音とパフォーマンスが“どのように自由に”関係を持って一つの表現となるのか、サウンドパフォーマンスの原点に立ち戻って問い直したパフォーマンスが集まりました。このプラットフォームでの出会い、衝撃が、新しいアウトプットへとつながることを期待しています。

チケット 当日券のみ 14:30～会場入口にて販売  
一般：2,500円  
U25：1,000円 (※U25は公演日に25歳以下対象(要証明書))  
高校生以下：無料(要事前申込。件名「SPP 高校生以下申込」  
本文に氏名、年齢、人数を記入。メールで受付)  
申込先：contact@aaf.or.jp

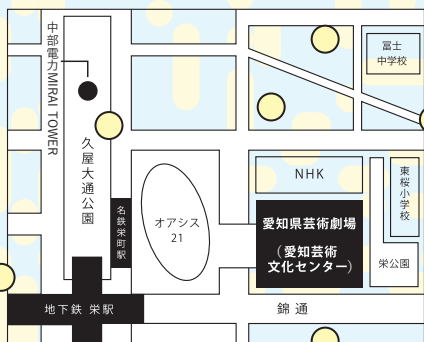
※車椅子でご来場予定の場合は劇場事務局  
(TEL 052-211-7552/contact@aaf.or.jp)までご連絡ください  
※やむを得ない事情により、内容等が変更する場合があります。  
※開演後は入場できない場合があります。

## 主催・お問合せ

### 愛知県芸術劇場

(公益財団法人愛知県文化振興事業団)

〒461-8525 名古屋市東区東桜1-13-2  
TEL 052-211-7552(10:00-18:00) contact@aaf.or.jp  
<https://www-stage.aac.pref.aichi.jp/>



※ご来場の皆さまへのお知らせとお願い  
(新型コロナウイルス感染症関連)



## ゲストアーティスト



©Takehiro Iikawa

ASUNA 『Chocolate, Candy & Drops』  
語源から省みる事物の概念とその再考察を主題として制作した美術作品「Each Organ」(2002)でデビュー。同時に音の物理現象に関する音楽作品の制作やパフォーマンスも行い、これまで海外25カ国以上で演奏/展示、CDやレコードなどをリリース。近年は、干渉音の複雑な分布とモアレ共鳴に着目した作品「100 Keyboards」で海外のアートフェスティバルを中心に活動。



写真：安齋明実

## 伏木啓 + Collaborative Artists 『The Other Side - Feb. 2022』

伏木啓(演出家/映像作家)は、時間意識における線形性と非線形性の重なりを主題として、身体と映像・音響などのメディアを複合的に扱ったパフォーマンス/舞台作品や、映像インスタレーションを制作している。『The Other Side - Feb. 2022』は、井垣理史(空間構成・装置)、高木理恵(ダンス・語り)、てらにしあい(ダンス・語り)、山田亮(ピアノ)、せきみつほ(音響)及び、テクニカルスタッフとの協働による。

## 公募アーティスト

### 村田 厚生・池田 拓実・磯部 英彬 演奏の新しいかたち

#### 『モーション&エフェクト』

トロンボーン奏者の村田厚生、コンピュータ音楽家・作曲家の池田拓実、作曲家・メディアアーティストの磯部英彬により、楽器(トロンボーン)に取り付けたモーションセンサー及び赤外線距離計によるリアルタイム音響エフェクトを実現した作品を演奏する。

### Benda putar

#### 『Sar/on rails』

インドネシアの民族音楽ガムランの演奏法から着想を得た音楽作品。動作の反復から生まれる独特の没入感を、ガムランの持つ精神「ラサ(情緒)」の一種であると捉え、ミニマルな音楽要素から得る。今回はドラマーの吉島智仁、木琴奏者の小山理恵、作曲者の森田了の3名で演奏する。

### 華山 萌

#### 『The Act of Before and After the Demise』

“柔らかい楽器とは”という問いから生まれた人間の皮膚、血液、そして拍動を思わせる、人体の器官を模倣する楽器。出演者はその楽器に対し様々な振動を制御し様々な物質を乗せ、音を出し演奏を行う。華山萌は多摩美術大学大学院美術研究科在籍。

### レトロニム

#### 『ルーム・ダビング』

俳優の瀬戸沙門、陶芸家の武内もも、演出家の野村真人からなる京都のアート・コレクティブ。2022年に劇団速度から名称を変更。「人とその周辺」にあるコンテンポラリーな物事や出来事をマテリアルに、メンバーそれぞれの視点を通した面白がり方を、遊び心ある方法やオブジェクトによって共有することを目指す。本作は音と行為による劇場未満・部屋以上の余白に向けたサウンド・パフォーマンス。